

(4) 総合科目Ⅲ

総合科目Ⅲ 科目群D

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
1D13011	現代物理学入門	1	1.0	3・4	春AB	月1	1E102	金谷 和至	物理学を専門としない学生に向け、現代物理学の基礎的な概念や考え方を講義する。基礎的方程式を使い、簡単な物理現象やその法則がどのように表現されているかを学び、方程式を解くことにより何が予言されるかを概観する。	(物理開設) 【受入上限数120名】
1D14011	実践・安全衛生と化学物質	1	1.0	3・4	夏季休業中	集中	1D201	野本 信也	化学物質は現代社会の発展に大きく寄与した反面、人は化学物質並びにその取扱作業のもたらす被害を被ってきた。この講義の目的は、総合科目Ⅲ「安全衛生と化学物質」において解説された化学物質とその取扱作業の危険性、有害性及び環境影響を理解・習得したことを前提として、実践的な化学物質の取扱手法を教育することにある。これをもって、現代の科学技術水準に対応した化学物質の環境安全衛生管理の手法を理解すると共に実践することができる専門職業人を育成する。	(環境安全管理室企画) 【受入上限数120名】
1D16011	環境開発・エネルギー総合工学	1	1.0	3・4	秋A	火3,4	3A308	文字 秀明	自分の将来像を描く上で、現在、世の中でどのようなことが行われているかを把握することは重要である。本講義は工学に焦点を当て、機械工学、電気電子工学、建築学、土木工学、システム工学、原子力工学、エネルギー工学、環境工学、航空宇宙工学、リスク工学など広範囲な分野を対象とし、そこで行われている最先端技術の開発や研究の状況をやさしく解説します。	(エシス開設)D科目 【受入上限数120名】
1D16021	知的なシステムをつくるⅡ	1	1.0	3・4	秋AB	水6	3A301	星野 准一	様々なシステムを賢くする研究の中から、インタラクティブシステム、知的センシング、人間の感性を取り入れたデザイン生成システム、自然言語処理・web技術、知的検索システム、ヒトの感覚を利用したシステムやロボットなど、興味深い例を取り上げて紹介する。どのような機能がどのような仕組みで実現されているのかについて、主に工学システム学類3年生を対象として分かりやすく解説する。	(エシス開設)D科目総合科目Ⅲ「1A16041知的なシステムをつくるⅡ」の単位を修得した学生は、履修できない。 【受入上限数120名】
1D19011	情報技術と数理工学	1	1.0	3・4	春A	月1,2	共同利用棟A101	久野 誉人	数理工学は情報技術を高度化する際の鍵を握るが、我々の言葉がコンピュータの中でどのように理解・処理されるのか、インターネットなどを通して送受信される画像・音響データがどのように加工・軽量化されるのか、インターネットなどの複雑ネットワークの特徴がどうやって分析されるのか、その数理的な仕組みを概観し、あわせて数理工学の基礎となる最適化とシステム制御について平易に講義する。	情報メディア創成学類学生の受講は認めない。 【受入上限数120名】 (創成開設)
1D23011	生命科学・医学におけるテクノロジーの進歩	1	1.0	3・4	秋C	集中	5C316	小池 朗	生命科学におけるテクノロジーはめざましく発展しており、医学分野におけるテクノロジーの進歩は、疾病の診断・治療に素早く還元されている。本講義では、生命科学・医学の専門領域におけるテクノロジーに焦点を当て、生体の機能の評価における最新のテクノロジーを学び、またそれをもとにした最先端の疾病診断・治療について理解する。	(医療開設) 1/16(月)、1/23(月)、 1/30(月)、2/6(月)、 2/13(月)の各1・2限 【受入上限数120名】

総合科目Ⅲ 科目群E

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
1E01021	食文化からみる民族と歴史	1	1.0	3・4	秋C	月1,2	1B208	谷口 陽子	私たち人間にとって生の根源である食とそれにまつわる食文化は、民族によって実に多様で、そこには豊かな世界が形成されている。本授業では、「食」をキーワードに、民族とその背後にある文化を掘り下げ、さらにそこから歴史をどう読み取るのか、また、食文化の中に多様性/共通性が生まれた背景は何であるのかに迫っていくことを目的とする。	西暦偶数年度開講。 【受け入れ上限120名】
1E02011	変動する地域を捉える	1	1.0	3・4					いつの時代・社会においても、人々の生活はそれぞれの地域のなかで、その地域をとりまく環境とのかかわりのなかで営まれてきた。しかし現代、政治や経済、あるいは文化の枠組みは大きく変動しつつある。そのような状況においては、地域というものが固定的に捉えるのではなく、問題に応じた時間的・空間的広がりを設定し、そのなかでそれぞれの営為を追いかけていく必要があるだろう。本講義では、主に日本とアジアを中心とする具体的な事例をもとにしつつ、変わりつつある地域を捉えるための地理学・民俗学・文化人類学・歴史学からの捉え方を紹介し、現代社会に対する学際的な理解を深める。	(比文開設) 西暦奇数年度開講。 【受講制限数120名】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
1E02021	破壊と再生の歴史・人類学	1	1.0	3・4	秋AB	月2	3A203	山澤 学, 伊藤純郎, 木村 周平, 津田 博司, 山本 真	グローバルな現代文明を生きる私たちは、社会的暴力、あるいは自然災害、地球規模の環境破壊に至るまで、さまざまな形態をとる破壊に直面している。同様の状況は、人類史における過去の変革期にもしばしば出現した。本講義では、かかる変革期に発生した自然災害および戦争に注目し、それらによる破壊の状況と形態、また、破壊後における再生の方法を検証し、現代の私たちに課されている問題を考え抜いていく。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】
1E03011	日本とは何かIII	1	1.0	3・4	春AB	月2	2C409	中込 睦子	「日本とは何かIII」では、現代の私たちが自明のものとしている、「日本語」「日本文化」の概念について、近年の研究動向を紹介しつつ再検討を加えることで、「日本とは何か」を考える。前半5回は「日本語の再検討」につき講義し、後半5回は「日本古典文学の再検討」につき講義する。	(日日開設) 日本語・日本文化学類学生の履修を認めない。 【受入上限数120名】
1E17011	経済学入門III	1	1.0	3・4	秋C	火3,4	共同利用棟 A101	佐野 幸恵, 秋山 英三	ミクロとマクロをつないできた統計物理学を背景に、近年発展してきた「社会経済物理」について、その歴史的な流れから最先端の話まで紹介します。	【受入上限数120名】
1E25011	社会のなかのデザイン	1	1.0	3・4	秋A	火1,2	5C213	貝島 桃代, 加藤 研	デザインに何が出来るのか? 社会との関わりについて、建築デザインの観点から、デザインの可能性を探る。	(芸術開設) 【受入上限数120名】

総合科目III 科目群F

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
1F08011	障害科学から見た社会—インクルーシブ社会の一員としての「自分」—	1	1.0	3・4					「人間が社会的に自立するとはどういうことか」、「社会に参加し、自己実現を図るとはどういうことなのか」について、障害のある人への教育的・福祉的支援や、障害のある人と社会との関係を学ぶことをとおして、受講生に考えてもらう。さらに、誰もが社会参加し自己実現を図ることのできるインクルーシブ社会の実現のために、受講生各人が社会の構成員として自分にできることを、自分の学士力に照らして考える機会を提供する。	(障害開設) 障害科学類生の受講は認めない。また、総合科目II「障害とともに生きるIII」及び人間学群コア科目「障害科学II」を履修済みの者の受講も認めない。2016年度開講せず。 【受入上限数120名】
1F17021	都市・地域・環境を探るIII	1	1.0	3・4	秋A	木1,2	3B405	大澤 義明, 藤井 さやか	近年の世界的な社会経済状況の激変により、私たちの住宅や、生活する都市、地域の環境は様々な変化の圧力を受けている。この変化を受動的に受け止めるのではなく、変化のメカニズムを理解し、望ましい環境を形成する主体的な知力を身につけることが求められている。本科目では、総合科目「都市・地域・環境を探るII, III」の発展形として、都市計画やまちづくりの実践事例を手掛かりに、社会の構成員である私たちが都市・地域・環境にどのようにかかわっていくべきかを考える。	(社工開設) 平成26年度以前に総合科目II「IC17121都市・地域・環境を探るIII」の単位を修得した学生は履修不可。 【受入上限数120名】
1F20011	記録遺産学	1	1.0	3・4	春C	集中	7A205	水嶋 英治, 白井 哲哉, 辻 泰明, パーレイ シェフ エドワルド, 江前 敏晴	文化財や文化的な資料を対象に、どのように記録を作成し、学術資料として管理していくかを解説する。記録された文化財(主として文字資料・映像資料)を取り上げ、アーカイブズ学・博物館学の視点から、古文書を含む歴史的公文書等・記録映像・文化遺産の資料(石碑・拓本・竹簡・木簡等)を取り上げ、ドキュメンテーション(記録管理)の方法論を学ぶ。	7/11(月), 23(土), 25(月), 8/1(月), 8(月)の1,2限 【受入上限数120名】

総合科目III 科目群G

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
1G10011	アカデミック・コミュニケーション1-伝えるための基礎-	1	1.0	3・4	春AB	月2	1E102	野村 港二	大学での学問に高い専門性が求められるが、一方で異分野との積極的な交流がなければ新たな道を開拓することはできない。そして、そのためには研究の本質を分かり易く伝える能力が求められる。本講義では、筑波大学の伝統である異分野融合の基本となっている学問の世界でのコミュニケーションの基本を考える。	(資源開設) 平成23年度までの「テクニカルライティング」、および平成26年度以前に総合科目IIの1C10081 アカデミック・コミュニケーション1、1C10091 アカデミック・コミュニケーション2の単位を取得した学生の履修は認めない。 【受入上限数120名】
1G10021	アカデミック・コミュニケーション2-伝えるための基礎-	1	1.0	3・4	秋AB	月2	2B309	野村 港二	大学での学問に高い専門性が求められるが、一方で異分野との積極的な交流がなければ新たな道を開拓することはできない。そして、そのためには研究の本質を分かり易く伝える能力が求められる。本講義では、筑波大学の伝統である異分野融合の基本となっている学問の世界でのコミュニケーションの基本を考える。	(資源開設) 平成23年度までの「テクニカルライティング」、および平成26年度以前に総合科目IIの1C10081 アカデミック・コミュニケーション1、1C10091 アカデミック・コミュニケーション2の単位を取得した学生の履修は認めない。 【受入上限数120名】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
1G24014	グローバルリーダー養成講座	4	1.0	3・4	春AB	火5	5C308	竹村 富士徳	自分の価値観や自分軸を演習やワークを通して再発見し、自分の人生の目的を考え、大学での目標を設定する。その目標達成のための重要事項と考え、それらを優先した計画立案を行う。さらには、人との信頼関係の構築の仕方、相手を理解することの大切さについて、ロールプレイなどを通して体得し、グローバルに相乗効果を発揮することを考え、自分が目指すべきグローバルリーダー像について整理し、理解を深める。 ・文化や慣習の違いの仕組み、価値観や信念形成の仕組みについて理解する。また、空間や時間概念、思考概念などが、アジア諸国、アメリカ、イスラム教圏の国と比較し、どのように違うか認識を深める。	(体育開設) 【受入上限数120名】
1G26011	キャリアデザインIII~仕事と社会	1	1.0	3・4	春AB	水6	共同利用棟 A101	五十嵐 浩也	様々な分野・領域で、活躍されている社会人を外部講師として招き、講師自身の仕事と社会とのつながりについて、実体験を交えた講義を行う。グループ討議などの手法を通じて、学生が自分自身のキャリアデザインについて考え、自分の将来の生き方の選択肢を広げるきっかけを提供することを目的とする。 1「仕事」と「社会」のあり方について、幅広い視野を持ち、社会における多様な役割を知ること 2自分のキャリアデザインについて考えるために必要な「情報収集力」と「情報分析力」を発展させること	(ダイバーシティ・アクセンビリティ・キャリアセンター キャリアサポート部門企画) CDP 【受入上限数120名】
1G26021	キャリアデザインIV~実践ビジネス基礎	1	1.0	3・4	春AB	水3	共同利用棟 A201	吉武 博通	日本の就業者の約9割は雇用者であり、その多くが企業で働いているという現実を踏まえ、社会における企業の役割、企業経営の仕組み、企業を理解するための経営学の基礎など基本的な事項を講義した後、グローバル化における企業経営の課題、組織で働く意味とリーダーシップなどについて共に考え、自らキャリアを能動的にデザインし、行動するために必要な考え方や姿勢を身につけることを目的とする。	(ダイバーシティ・アクセンビリティ・キャリアセンター キャリアサポート部門企画) 【受入上限数120名】